

「みらいへの手紙 — この道の途中から」

……がれきに花を咲かせようPJがなんと、アニメになります！！



昨年12月末、福島ガイナックス社長さんと
制作スタッフの方からインタビューを受けました。

復興に向かう福島県の状況をアニメで伝える、という福島県の事業で、県民が主人公の2分ほどの短編アニメ10本をまとめた、オムニバス形式のドキュメンタリーアニメーションが制作されます。

制作会社は福島ガイナックス、クリエイティブディレクター・箭内道彦さんが監修、2月に秋葉原で初披露後は、全国で試写会が行われるそうです。

福島県の今を伝える代表として、私達のPJ活動が選ばれたことはとても嬉しいですし、どんなアニメになるのか、今からとても楽しみです！

★1月9日(土) 福島民報・福島民友に制作発表の記事が掲載されています★

●ガイナックス制作のアニメ

「新世紀エヴァンゲリオン」「魔法少女大戦」「天元突破グレンラガン」「めだかボックス」「放課後のプレアデス」

「王立宇宙軍 オネアミスの翼」「ふしぎの海のナディア」「トップをねらえ！」「彼氏彼女の事情」… 他

●福島ガイナックスとは…

昨年1月、福島県の震災復興への寄与を目的に、ガイナックスが三春町に開設した施設。アニメ制作スタジオ、日本初の本格アニメミュージアムがあります。現在開催中の「寺田克也ココ12年展」にはゲストとして、小説家・夢枕獏、漫画家・内田泰弘、桂正和が訪れています！

●庄司淵トンネル（霊山町）貫通式！● 11月21日(土)貫通式



1年以上かけて掘削するトンネル工事は苦勞が多く、貫通した時の喜びは本当に大きなものなのだと実感しました。式典では、合唱部さんが美しい歌声を披露してくれました。業者さんから、たくさんプレゼントを頂き、今後の励みになりました！



震災から間もなく5年。

12月開催の「卒美展」において、花がれきPJの紹介展示を行いました。今年度は「もうすぐ5年！」と題して、これまでの活動経緯をまとめたものを展示しました。見てくれたみなさん、ありがとうございました！

最近、ニュースなどでも「震災から5年」という言葉を何度も耳にするようになりました。振り返ると様々な思い出が蘇ります。3年生は中学生、1・2年生は小学生でした。不安や恐怖の中で、当たり前のように繋がりの重要さに気付いた5年前の震災をターニングポイントとして、自分をどのように作ってきたか？これから社会に関わるみなさんは、それを問われるようになります。

人の心は目に見えません。心を理解してもらうためには行動することが必要で、ボランティアなどの活動にはその力があります。花がれきPJはこれからも「ムリなく楽しく」をモットーに、自分たちにできることを頑張ります！